



延喜式内名神大社

生島足島神社便り

第54号



ごあいさつ／新任総代	2
職員紹介／祭事ご紹介	3
くぐってお参りしよう／主な境内改修	4
人生と神事／新しい仲間	6
日本遺産／神社ホームページが新しくなりました	7
初詣／お知らせ	8



QRコード
携帯電話、スマホにて簡単に
ホームページにアクセスできます。



QRコード
「参拝の作法と参拝順序」
まいぶれ上田・東御にアクセスできます。

ごあいさつ



宮司代務者
池内 宣裕

元号が変わり新年を迎えた令和二年も、残すところ後約一ヶ月となりました。氏子崇敬者の方々におかれましては、平素神社の神徳宣揚に御理解御協力を戴いておりますこと厚く御礼申し上げます。

本年は初春から初夏にかけて大陸武漢発生 of 新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、多くの被害がもたらされました。国内においても、感染症



により国民の生命及び健康生活に著しく甚大な影響を及ぼすおそれがある事態が発生したと認められることから、四月七日、緊急事態宣言が発令さ

れました。ウイルスによりさまざまな被害を受けられた方に心からお見舞いを申し上げます。この発令により当社におきましても祈願主参拝者及び関係者の安全を第一と考えウイルス感染拡大防止の為、マスク着用の徹底・アルコール消毒の励行・施設の換気に努め、また参拝時間の短縮や鈴緒の使用中止・手水ひしゃくの撤去等の対策を行ってまいりました。そして、春祭・夏の祇園・例祭・新穀感謝祭等各祭典の規模も縮小し、来賓をお招きせず斎行いたしました。

歴史を顧みますと、今から一、三〇〇年前の養老四年(西暦七二〇)に撰上[※]されました『日本書紀』^{※二}には疫病の事が記されています。第十代崇神天皇即位五年目に「国中に疫病が流行り、国民の半分以上が亡くなり社会が混乱した」。「天皇は悲しみ、夢のお告げに現れた神を祀り、天神・国社などを定め、神社の制度を整え」と「即位七年目「疫病は初めて途絶え、国内はようやく平穏と



なり、五穀はすっかり稔って、百姓は豊穰になった」。国内漸謐^{※三}、五穀既成、百姓饒之。日本人はその度毎に神仏に祈りを捧げ医療の改善と防災対策に努力を重ねて来ました。今回のウイルス禍、台湾やベトナムと同じく死者数が外国と比較し極めて少ない状況の我が国は、医療従事者の方々の尽力が最大要素ですが、清潔を重んじ、世界でも類を見ないほどの衛生観念を持つといわれる日本人の国民性が最大要因といわれています。必ずや疫病の流行も終息すると確信し、私共神職も毎朝疫病退散終息祈願を続けて参ります。

さて、六月十九日塩田平の文化財群が日本遺産として認定を受けました。これは信濃国分寺から生島足島神社そして別所温泉を通るレイライン(太陽・お日様がつくる光の線)沿いに点在する神社仏閣や雨乞いなどの祈りのかたちを元に、降水量が少ない風土で身近な山々に宿る龍神(水神様)と密接に関わって来た塩田平の人々の暮らし等が『太陽と大地の聖地(龍と



生きるまち)』というテーマで認められたものです。当神社でも以前から例祭日に開催されます神賑祭のキャッチコピーは、太陽と大地に感謝、であります。冬至には西御門・西鳥居と一直線になる夕日のお日様を拝みに多くの方が訪れます。来春には別所線が復旧、再来年の大河ドラマは北条義時主人公の「鎌倉殿の十三人」が放送予定です。「信州の学海」「信州の鎌倉」等の謳い文句を考えた先人達に敬意を表しつつ、塩田平に多くの方々を足が運ばれることをお待ちしております。

また去る六月一日、責任役員からご推挙を受け、神社本庁より生島足島神社宮司代務者に任ぜられました。微力ながら御神威の発揚に務めていく所存でございます。御指導御鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、氏子崇敬者の方々の御健勝御活躍を祈り、新たな年が幸多き佳き年となることを祈念し御挨拶といたします。

※一 (書物などを編纂し天皇に奉ること)

※二 参考文献 新編『日本書紀』

巻第一から巻第十

校注・訳者 小島憲之 他四名

小学館 一九九四年

四月二十日第一刷発行

※三 同右 二七四頁

職員紹介

宮司代務者 池内宣裕

御祭神の神徳宣揚（生島足島神社に鎮座する神様の優れたお力を世間に示し広めること）と御社頭の尊厳護持（社

殿の前、境内の尊厳を傷付けられたり失われたりしないように、大切に守っていくこと）に努めるため、朝のお掃除から参拝者の応対、また祭典・御祈禱の御奉仕、お札・お守りの授与、事務作業等社務奉仕に日々職員一同勤めています。今後ともよろしくお願いたします。

神職



権禰宜 橋詰 昌徳



権禰宜 甲田 将史



権禰宜 友野 直樹



権禰宜 宮原 久

女子職員



荒井 珠己



古川 とし子



小林 由美



村山 愛美

巫女



樋口 真衣



横山 実早紀

新任 総代の方



10班 濱 信男 祭典部

祭事ご紹介



権禰宜 宮原久

御筒粥卜事（おつつがゆうらないのこと）

一月十四日日の入り後齋行

御筒粥卜奉告祭

並び暮目鳴弦（ひきめめいげん）

蛙狩神事（かわずがりしんじ）

一月十五日午後一時齋行

生島足島神社を中心にひろがる塩田平は上田小泉地方の米どころであり、上田藩の約七割の米を生産していました。その関係か、当社の祭事も御米の豊作を祈願する祭事が見られます。毎年六月七月に行われます御田植神事は、境内南西にある御歳代（みとしろ）と呼ばれる神田の横の仮殿（神様を一時的にお招きするお社）に撰社諏訪神社より建御名方富命をはじめ豊作を司る神々をお招きし、当地方の豊作を祈念する神事とその代表であり、それと同時に期に行われます当神社に伝わる御神楽 三頭獅子（みかしらじし）も地固め豊作を祈念する神楽と云われています。それら初夏から夏にかけて行われます神事と同様に、一月の厳冬の中行われる豊作祈願の祭事が、今回紹介

します御筒粥卜事と暮目鳴弦、蛙狩神事です。御筒粥卜事は一月十四日の日没後、御本社横の御籠殿にて心身を清めた神職が、忌火で炊いたお粥の中に葦の筒を入れ、その中に入った米粒の数でその年の作物の出来を占う神事です。翌日の午後より御本社にてその卜いの結果を御神前に奉告した後、神職により天地四方を弓の弦を鳴らしてお清めする暮目鳴弦を行い、御神島より鬼門方角へ矢を放ちます。その後宮司が御神橋の上よりウツギで奉製した弓にて御神池内へ矢を放ち、稲作りで悪さをするといわれる蛙を追い払います。（それ故、生島足島神社の境内には蛙がいないと云われています）これらの年始めの祭事により生島足島神社の御神威が国土隅々まで行き渡り、その年が稔り豊かな大地となります。ますようお祈り申し上げております。十四日の祭事は秘祭にて非公開でありませんが、翌十五日は御参拝の方々も蛙狩神事をご覧頂けます。御筒粥卜事の札をお頒ちしております。



くぐってお参りしよう 誰も知らない鳥居の・ひ・み・つ・つ



権禰宜
友野直樹

突然ですが、皆さんは神社の地図記号ご存知でしょうか？… そうです。

卍

神社の鳥居と言って良いくらい。ランドマークや シンボルとしての鳥居があります。

堂々とした鳥居をくぐると、ピンと張りつめた神域の雰囲気を感じる方も多いと思われます。

また、鳥居を見ると思わず手を合わせたり、ポイ捨て禁止に鳥居を立てたり等、鳥居は、神聖な場所に立つイメージを持つ方が多いと思われます。

生島足島神社でも、東西の鳥居の前で手を合わせお参りされている方、お辞儀をしている方等をお見受けする事があります。

今回は、その鳥居の謎を探って見たいと思います。

鳥居の種類

鳥居は沢山種類があります。現在わかっているだけでも十二種類あると言われています。これから先、増えている可能性もあります。お祀りしている

神様、時代、信仰等によって様々変化していきました。

皆さんは何種類知っているでしょうか、神社にお参りしたときに何げなく鳥居をくぐりますが、一旦立ち止まり眺めてみましょう。これは〇〇鳥居と答えられたら、より一層楽しくお参りできると思えます。



▲御旅所鳥居



東大鳥居▶

生島足島神社の鳥居

生島足島神社の鳥居は、何鳥居でしょうか、とても大きい鳥居です。大きな鳥居は、二本の柱で支えて立つのは大変です。支えるためにもう二本支える柱が両脇にあります。この形状の鳥居を『両部鳥居』(りょうぶどおりい)と言います。有名な両部鳥居は、厳島神社の海上鳥居等です。

この鳥居は仏教の影響を受けており特に真言宗の影響を受けています。大きな鳥居は大体この形態の鳥居が多いです。また、上小地域の神社は両部鳥居が多いです。

鳥居の意味

何故鳥居があるのか？諸説ありますので、詳しく述べませんが列記します。

古代インド塔門説

※仏塔の入口 「トラーナ」似ている

中国の華表説

※中国の門柱に似ている

主な境内改修



車お祓い所(中央に御本社)の整備



神池南・西フェンス改修



御旅所整備



フェンス改修作業

原始時代の二本の柱

※縄文時代 ムラの入口に柱を立てた

韓国のチントベキ

※村に悪霊を祓うシンボルを立てた

神社の参詣『通る』

※「通り入る」↓「トウ・リル」↓

「とりゐる」に変化

『岩戸』神話から

※鶏を横木にとまらせ鳴かせた。

主人の供は神前まで

※鳥居従者 居居ここまでしか入れない

『陰陽説』より

※陰居女性 陽居男性 二本の柱で一つ

と様々あります。どれも魅力的な説
であります。決め手はありません。

この謎ときに挑戦してみるのも良い
でしょう。

鳥居の入り方

現在鳥居をくぐる際、皆さんはどんな
作法で入っているのでしょうか。入り
方があるのか？ ないのか？ 気になる
ところですよ。

昨今の神社参拝のブームでは、様々
な本があります。共通しているのは、

鳥居の前で立ち止まり、『一礼してか
ら入る』とあります。帰るときも同様
で、『一礼をする』とあります。日本
人らしい奥ゆかしさでしょうか、生島
足島神社でも、鳥居の前 御門の前、
橋を渡る前、等で一礼されている方を
多く見受けられる様になりました。皆
さんはどうでしょうか？

以上、鳥居の謎に迫って見ました。
神社に参拝の際は、是非鳥居の前で一
度立ち止まり、じっくり眺めて見ま
しょう。



▲山宮鳥居



東鳥居▶

参考文献

『神道いろは』

神社本庁教学研究所 監修

二〇〇四年二月一日 神社新報社

『社寺建築を読み解く』

相原文哉 著 長野県神社庁 協力

二〇一二年六月一日 ほおずき書籍



◀西鳥居



北大鳥居▶



◀荒魂社鳥居、平成24年
8月篤志家による奉納
(明神鳥居)



八幡社鳥居▶



老木の伐採



老木折れ枝手当御旅所



山宮山林整備



屋根雪落下防止柵設置

人生と神事

長野県神社庁

着帯祝(安産祈願)

妊娠五ヶ月目の戌の日に行い、神社でお祓いを受けた帯を着け安産をお祈りします。

命名

名前は生命の象徴と言われており、神社では祝福と願望をこめて名前をお授けします。

初宮詣

男児は生後三二日目、女児は三三日目に初めてお参りし、無事成長をお祈りします。

七五三祝

男女三才を髪置、男児五才を袴着、女児七才を帯解の祝として、いずれも十一月十五日に神社へ参拝し、健やかな成長をお祈りします。

学業成就

氏神さまにお参りし希望校へ入学出来ます事をお祈りし、心安く勉学に励みます。

入学式

無事入学出来た事に感謝のお参りをします。

成人式

今日まで育てて下さったご両親に感謝し成人を自覚します。

厄除祈願

厄年は古くから災難が多く、障りのある行動や振る舞いは慎むものです。数年で男性は二・七・二五・四二・六一、女性は二・七・一三・一九・三三・三七・四八才であり、その前後は前厄・後厄と言います。

結婚式

新郎新婦が心一つに力を合せ、新家庭を営む事を神前にて誓います。

家庭のまつり

お喰初め・誕生祝・節句等は神棚の前でお祝し、還暦は六十・古希七十・喜寿七七・米寿八八、銀婚式・金婚式のお祝は氏神さまへお参りし感謝のお祭りをを行います。

諸祈願

交通安全・旅行・地鎮祭・竣工式・落成式・開店・家祓・病氣平癒・就職・縁結等の祈願、諸願御礼参等の執行については神社へ御相談下さい。

新しい仲間



巫女 横山 実早紀

長年神社で愛されておりました、ガチョウのちようすけが、今年の六月にお空に旅立つて行きました。：

授与所前にお参りしたとき、お腹が空くとお魅をもらえるまでつくつく鳴いていました。騒がしいと思っていたあの声も、もう聞けなくなると思うと寂しさを感じます。

ちようすけが神社に住み始めて何年になるか定かではありませんが、少なくとも二十年以上、三十年近くも神社のマスコットとして皆さんに可愛がっていただきました。

人なつっこい性格でしたので、あの世でもきっと楽しく暮らしていると思います。

さて、そんな訳ではしばらく寂しくなっていた神社ですが、九月に入り、新たな仲間としてシナガチョウの姉妹を二匹迎えることになりました。

ちようすけ(ヨーロッパ系のガチョウ)と種類の異なるガチョウで、ちよつと小柄な体格、鳴き声もちようすけより低い声です。

まだこどもで、神社に来て日も浅いため、人が近づくと逃げてしまいます

が、これから少しずつ慣れていくと思います。
エサもヘルシー志向でキャベツの葉などを食べています。お魅はまだ食べた事が無いようですが、ちようすけや先輩カモのように食べてくれると嬉しいですね。
ちなみに名前は、いまだ未定！どんな名前になるか、楽しみにしててください。
新しい仲間も、どうぞよろしくお願ひします。





権禰宜 友野直樹

この度、文化庁所管の「日本遺産」に、生島足島神社を含む塩田平の神社仏閣等が認定されました。複合遺産ですので、皆さんにお馴染みのものや、魅力あるものが数多く含まれています。生島足島神社からは、御本社 諏訪神社 重要文化財「生島足島神社文書」が選出されています。また、上田市の「日本遺産」の大きなテーマである。レイライン(冬至・夏至の太陽線も含まれる)と考えれば東西参道も該当するのではないかと考えられます。

日本遺産とはなにか

文化庁HPによる趣旨・目的は「わが国の文化財や伝統文化を通じて地域の活性化を図るためには、その歴史の経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えた受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、これらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を効果的に進めていくことが重要です」とあります。

今回、上田市は単独登録で九十二番で令和二年六月十九日に認定されました。ストーリー名称は、レイラインが「太陽と大地の聖地」龍と生きるまち信州・塩田平」となりました。全国で令和二年六月十九日現在、一〇四の「日本遺産」が認定されています。

上田市は九十三番です。近隣では千曲市が九十二年度の千曲一姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」が登録されています。

生島足島神社「七不思議」

昔より、『七不思議』の一つとして語り継がれてきた東西参道は所謂「レイライン」太陽線です。再度、認識して頂き神社の理解を深めて頂ければと思います。

祝 日本遺産 『大地を祀る神社の太陽信仰』

ばと思います。

初夏、六月、一番日が長い日、夏至の日、太陽は東鳥居の真ん中よりあがります。

初冬、十二月、もつとも日が短い日、冬至太陽は西鳥居の真ん中に沈んでいきます。

この、生島足島神社の特色の一つである東西に延びる参道は、完全に東西ではありません。冬至夏至線に合わせて作られています。角度はおおよそ二十三度です。

太陽信仰と生島足島神社

これはなぜでしょう。古今東西「太陽信仰」があります。大地に水、そして太陽 即ち、「お天道さま」日の光は大変重要です。そう言った太陽の信仰がありました。

さらに、カレンダー「暦」の役割がありました。古代日本人、我々のご先祖様たちは、様々な願いを込めて、「大地の神さまを祀る聖地」に「太陽の信仰」を取り入れたのだと思います。これが現在の東西鳥居、参道へと繋がっており、過去から現在へ伝わり未来へ受けついでいく祈りの形となっているのではないのでしょうか？

終りに これからの取り組み

なにげなく歩いている参道も多くの人が歩き神様の前まで来たと思えます。そんな思いもたまには考えながら歩いて見てお参りして見てはいかがでしょうか。

日本遺産は、地域を見直し己を知るには素晴らしい取り組みかと思えます。沢山の方々のご参拝を心からお待ち申し上げます。

参考文献

- 文化庁HP 日本遺産 (Japan Heritage) について
- 上田市HP
- ウィキペディア 日本遺産 について
- 信州七不思議 降旗利治 1984年 郷土出版社

神社ホームページが新しくなりました



総代長 松澤 繁樹

本日十月十五日、生島足島神社ホームページをリニューアル致しました。改善しなければならぬ箇所は多々ありますが、参拝に来られる方々の参考になるよう分かりやすく、そして親し

新ホームページの主な特徴



権禰宜 甲田 将史

既存のホームページは作成ツールが旧式なため、情報の更新に、コストと時間がかかり迅速に対応出来ませんでした。パソコンからの入力を前提としており、特にスマートフォンやタブレット等への対応にも限界があり、多くの制約を受ける現行へのカスタマイズより新技術を採用し、利便性・デザイン性に優れ、高機能で低価格に運用できるツールに変更しました。

特に、表示する項目は、スマートフォン

みをもっていたただけるページにしながら情報を発信していきたいと考えています。

コロナウィルス過の中ではありますが対策をとってお待ちしております。道すがら気をつけておこし下さい。



ンを想定した形に変更し、通信は暗号化されます。

従来は掲載内容の追加・修正・削除は固定され限られたボリュームでしたが、変更後は自由に増減できるようになったため、神社の運営に沿って多くの情報が公開できるようになりました。情報の発信量が参拝者の集客に繋がる時代となり、単独での発信には限界がありますので上小地域の情報サイト「*まいぶれ」との相互リンク等、連携を図り、当社ページから上小地域の情報へと繋がります。

*「まいぶれ」運営に関わる(株)アドクリエイティブデザインは、当社ホームページの制作・管理にも関わっております。

初詣

権禰宜
友野直樹

令和3年の初詣は新型コロナウイルス感染症拡大防止予防の為、全国的に分散参拝をお願いしています。生島足島神社でも様々な対策を施しております。例年と違い戸惑う方がおられるかと思えます。ご不便御面倒かと思えますが、三密を避けるためにご協力の程よろしくお願い致します。

又、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

一、最新の情報はHPにて感染予防対策などの事柄を順次掲載予定です。ご確認ください。

一、参拝巡路は、東鳥居から入り、帰りは西側を通りお帰り頂きます。

一、御神橋は日にちを延長して渡れるようにします。(例年は3ヶ日のみ)

一、新年の御札御守縁起物は、十二月末の二十六日(土)以降頒布を予定しています。お問い合わせください。

一、縁起物は、神楽殿から授与所に場所を変更します。

一、手水は柄杓を使わない様に工夫いたします。

一、鈴緒は撤去してあります。

一、だるま市は歌舞伎舞台にて執り行

います。目入れ場所も変更予定です。お焚き上げは場所を変えて行い、広場を確保します。

一、お賽銭箱を広げる予定です。

一、御札御守は、神楽殿西側にて頒布いたします。

一、職員総代はマスク着用にて対応を致します。対面する場所はアクリル板ビニールにて敷居を設けます。

一、各所に消毒剤を設置します。定期的に掃除をします。

一、御祈願は家族ごと区切りを入れ、大人はマスク着用を必ずお願いしています。(子供さんは可能な限りお願いしています。)

一、御祈願の昇殿人数は予告なく制限する場合があります。

一、対策は施す予定ではありませんが、一番はそれぞれの方のお心です。感染拡大予防の為、御協力、御助力をよろしくお願い致します。

授与品

当地区の伝統行事である、『下之郷三頭獅子舞』が御守になりました。『五穀豊穰』『疫病退散』を祈り、祇園祭にて氏子の方々に奉納頂き受け継がれてきた、この獅子舞が御守となりました。五穀豊穰守は緑地に赤獅子、疫病退散守は赤地に青獅子、ステッカー守は

三頭そろい踏みとなりました。是非お受けください。

『手作り熊手』一五〇〇円 『手作り破魔矢』一五〇〇円は特にお勧めです。年々人気が出てきました。限定授与品ですので、これを機会に是非受けてください。



だるま市では自分色に染めるマイダールマ『絵付け福だるま』五〇〇円をご用意しました。

自分で絵付け後、一年間大事に手元に置いて愛でてください。



生島足島神社暦 今年で3年目です。内容も少しづつ変更しています。手元に置いて頂き『神様と共に』一年間過ごしてみませんか？ きつと良いことがあります。お勧めです。



以上となります。新しい生活様式も慣れてきましたが、目まぐるしく変化し、予断はできません、十二分にお気をつけて頂き、良いお年をお迎えください。

写真室からのお知らせ

写真室では成人式のお写真・振袖レンタルをお受けしております。お早めのご予約をお勧めいたします。また、卒業式の着物・袴のレンタルもござります。節目の記念はぜひ、お写真を残しましょう。



写真室 TEL 〇二〇一八六二一七五三